

高等教育機関について

1. 日本医療大学インターナショナルケアスクール開校について

(1)経緯

令和4年に日本医療大学の総合福祉学部へ入学するために必要な日本語教育を実施するため留学生別科を設置。出身国は中国で、当初入学定員を30名とし、状況に応じて50人、80人に定員を増加する予定としていた。

令和5年から受入を開始したが、中国籍の入学者が制限されたことから、対象国としてネパールを加え、令和6年から毎年100人弱の生徒を受入。

学生は、日本語の習得後、高い介護技術を4年制大学で学び、日本で就職したい意向はあるものの、その間の経済的負担が難しいことから、日本医療大学では、日本語学習2年間、介護学習2年間となるよう、令和8年度からインターナショナルケアスクールを開校することとした。

(2)現況

①日本語別科

入学定員を120名とし、主な出身国はネパール、修業年限は2年であり、入学資格を日本語能力試験 N4程度とする。

②介護 DX 別科

介護福祉専門職業人を養成するために必要な教育を実施し、入学定員を100名、入学資格を日本語教育試験 N3相当以上とする。

居住地は、キャンパス内の学生寮もしくはビレッジハウス北・南となり、地域町内会へ説明済。

2. 北海道文教大学地域人材循環システムについて

地域の高校・大学・自治体が連携し、地域課題の解決や地域活性化に貢献する人材の育成・輩出を図るため、「地域人材循環システム」の構築に向けた協議をおこなって参ります。

なお、北海道文教大学では恵庭北高校及び恵庭南高校と連携協定を締結し、入学金の免除等の取組を先行して実施しております。

恵庭市、恵庭南・恵庭北・北海道文教大学附属高等学校、北海道文教大学による 地域人材循環システムの構築（イメージ図（案））

～高校⇒大学⇒地域貢献⇒地域定着までの好循環をつくる～

